

| | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|---------|---|-----|---------|-----|-----------|------|----|
| 科目名 | キャリアプランニング3 | | | | | | 年度 | 2025 | |
| 英語科目名 | Career Planning 3 | | | | | | 学期 | 前期 | |
| 学科・学年 | 音響芸術科 2年次 | 必/選 | 必 | 時間数 | 30 | 単位数 | 2 | 種別※ | 講義 |
| 担当教員 | 柴徳昭 | 教員の実務経験 | | 有 | 実務経験の職種 | | エンジニア・作曲家 | | |

【科目の目的】

適切な就職活動と内定を得られる事を目標とす適切な就職活動と内定が得られる事を目標とする。前段階として完璧な履歴書・エントリーシートの作成。近年では様々な履歴書サンプルがネットや参考書で出回っており、単なる型どおりの履歴書は作成しやす。一方でどれも画一的で学生本人の言葉、本人らしさが見えない書類も多いと、採用担当者から聞く。履歴書は自分の分身として、面接時の参考書類として捉えられていくものであり、表現手段でもあることを自覚して作成できるようにする。

【科目の概要】

今後の生活に関わってくる、働くという事を多方面から考える。まずは専門学校生の殆どが行う就職について、的確な対策を学んで行く。自分の理想としての社会人になるために、一方では会社や社会に合わせた対応を行うためにも、履歴書、エントリーシートについての表現方法を研究する。また、後半では面接についての注意事項やよく質問される話題を想定しておくことにより、的確なやりとりをできるようにしていく。また、担当教員や先輩達の事例を参考にすることで、音響・映像・音楽業界特有の就活のあり方についても学んでいく。

【到達目標】

- A：学校指定履歴書を完成させる
- B：企業・進路へ向けて応募する
- C：説明会・面接など社会人と適切なやり取りができる

【授業の注意点】

この授業では、音を扱うプロとしてノイズと捉えられる授業中の私語や受講態度などには厳しく対処する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

| ルーブリック評価 | レベル5 優れている | レベル4 よい | レベル3 ふつう | レベル2 あと少し | レベル1 要努力 |
|----------|-------------------------|--------------------|------------------|---------------|--------------|
| 到達目標 A | 学校指定履歴書のすべての項目を適切に埋められる | 学校指定履歴書のすべてが埋められる | 志望動機が書ける | 自己PRが書ける | 履歴書の下書きも無い |
| 到達目標 B | 面接や説明会へ3社以上参加する | 面接や説明会へ参加する | 面接や説明会へ応募する | 各就活サイトに登録をする | 募集状況を調べていない |
| 到達目標 C | 面接や説明会にて質問ができる | 面接や説明会へ参加し、お礼状を送れる | 会社へ伺う事前に確認連絡が取れる | 就活用の服装を意用している | 説明会へも応募していない |

【教科書】

適時プリントを配布する。

【参考資料】

特になし

【成績の評価方法・評価基準】

ルーブリックに基づく評価を行う。評価方法は主にグレード試験と提出物で行う。また補足的にレポート評価を行う場合もある。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

| 科目名 | | キャリアプランニング3 | | | 年度 | 2025 |
|------|-------------------|-----------------------------------|---------------|----------------------|------|------|
| 英語表記 | | Career Planning 3 | | | 学期 | 前期 |
| 回数 | 授業テーマ | 各授業の目的 | 授業内容 | 到達目標=修得するスキル | 評価方法 | 自己評価 |
| 1 | 履歴書の空欄を無くそう。Ⅰ | 専門科目、得意な科目、課外活動が記入できるようにになる。 | 1 専門科目 | 現場に直結した勉強のPR | 3 | |
| | | | 2 得意な科目 | 自分の得意分野のPR | | |
| | | | 3 課外活動 | アルバイトやボランティアのPR | | |
| 2 | 履歴書の空欄を無くそう。Ⅱ | 自己PR、志望動機がきっちり書けるようになる。 | 1 自己PR | 自己分析 | 3 | |
| | | | 2 志望動機 | 企業分析 | | |
| | | | 3 社長の視点 | 自分が社長ならどんな人を採用するか考える | | |
| 3 | 就活事例 | 担当教員の就活体験談。近年との違いと変わらないことについて理解。 | 1 教員の学生時代 | 他の事例から学ぶ | 3 | |
| | | | 2 就活 | 他の事例から学ぶ | | |
| | | | 3 内定してから | 他の事例から学ぶ | | |
| 4 | スマホやメールの設定確認 | 企業とのやりとりと友達とのやりとりの区別ができる。 | 1 着信の設定 | 学生感覚との違い | 3 | |
| | | | 2 留守番機能 | 学生感覚との違い | | |
| | | | 3 呼び出し音 | 学生感覚との違い | | |
| 5 | SNSは大丈夫？ | 誰に見られても大丈夫かSNSの確認。自分の情報の見え方を理解する。 | 1 SNSの設定 | どこまで見られる設定か | 3 | |
| | | | 2 メールアドレス名 | 社会人としてふさわしい表記か | | |
| | | | 3 守秘義務について | 仕事上の秘密を守る | | |
| 6 | 面接受けを良くしよう。 | 身だしなみと表情と姿勢を良くする。 | 1 服装・スーツ | 音響業界と一般の見栄え | 3 | |
| | | | 2 靴・カバン | スーツ以外の見栄え | | |
| | | | 3 ヘアスタイル・メイク | 自分をよく見せる | | |
| 7 | 業界特有の時事問題 | 最近の話題をチェック。映画、本、事件など時事問題について理解する。 | 1 今年の受賞作 | 作品、監督、出演者について調べる | 3 | |
| | | | 2 注目の作品 | 人気作品について知る | | |
| | | | 3 注目の技術 | 最新の音響・映像技術の使い方について知る | | |
| 8 | 面接の緊張対策。 | 面接の言葉遣いを正しく使えるようになる。 | 1 事前の心構え | 緊張はするものと心得る | 3 | |
| | | | 2 適度な敬語 | 丁寧に話すことを心掛ける | | |
| | | | 3 姿勢とあいさつ | 元気よく、目を合わせて話す | | |
| 9 | 敢えて働かないで生きていく方法 | 働くメリットについて理解する。 | 1 バイトと社員 | 契約の内容、保険など | 3 | |
| | | | 2 不労所得 | 株などの別の収入についてとリスク | | |
| | | | 3 社会的立場 | ローン契約なども含めた社会的信用について | | |
| 10 | 自分のキャッチフレーズ | 就活・転職も考えて面接対策の見直しができるようになる。 | 1 仕事で重要視すること | 職種・待遇などを考察する | 3 | |
| | | | 2 妥協できないこと | 仕事選びでもっとも大切なこと | | |
| | | | 3 会社へのアピール | 自分の一番のポイントは？経験は？ | | |
| 11 | グループディスカッション・集団面接 | グループディスカッションの注意点と面接のタプーを確認できる。 | 1 仕事仲間になる | チームとしての迎え入れは人柄 | 3 | |
| | | | 2 リーダーでなくてもいい | 支える力はさまざまと知る | | |
| | | | 3 集団でのバランス感覚 | 周囲全体への気配りが大切 | | |
| 12 | 就活でよく聞かれること1 | 面接やエントリーシートで頻繁に出やすい項目1の理解。 | 1 学校指定履歴書の利点 | PRのポイントが多く有利 | 3 | |
| | | | 2 学チカ | 学生時代にもっとも打ち込んだことを示す | | |
| | | | 3 友達は自分の鏡 | 友人たちも自分のPRのうち | | |
| 13 | 就活でよく聞かれること2 | 面接やエントリーシートで頻繁に出やすい項目2の理解。 | 1 業界の将来性 | 業界全体を見渡せる | 3 | |
| | | | 2 困難の克服 | 過去の克服体験をPRできる | | |
| | | | 3 他社の受験状況 | アクティブな人間としてのPR | | |
| 14 | 就活でミスをした！ | 就活でのトラブル対策についてわかる。 | 1 謝罪のポイント | 経緯を伝える | 3 | |
| | | | 2 謝罪の連絡 | タイミングと内容 | | |
| | | | 3 次につなげる | 次への対策を具体的に考える | | |
| 15 | 前期復習 | 前期振り返り、まとめることができる。 | 1 意欲 | 仕事、会社への期待 | 3 | |
| | | | 2 見栄え | 一種のコミュニケーション力とする | | |
| | | | 3 行動 | 就職はスカウトではなく自ら動く | | |

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等